

世界にはばたく かがやキッズ 上尾市英語力向上プラン ～進んで英語を話せる上尾の子を育てる～

上尾市では「進んで英語を話せる上尾の子を育てる」ことを目指して、英語力向上プランを推進しています。

小学校1・2年生からALTを活用した英語活動、小学校3・4年生では英語に慣れ親しむ外国語活動、小学校5・6年生ではコミュニケーションの基礎を身に付ける外国語科の授業を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成します。中学校では小学校までの学習を円滑に接続し、小・中9年間を見通した英語教育を推進します。

小学校1・2年生で「英語活動」がはじまります！

上尾市では、文部科学大臣から教育課程特例校の指定を受け、令和2年4月から市内全小学校1・2年生で「英語活動」が実施されます。「英語活動」では、児童に「生きた英語」を学ぶ環境を整備すること、及び「話すこと」を中心としたコミュニケーションを図ることを楽しむ態度を育成します。小学校1・2年生における英語教育は、県内でも他市町村に先んじた上尾市独自の取組です。

年間授業時数

9年間を見通した英語教育



【英語活動】

小1年生 34時間
小2年生 35時間

英語や外国の文化に慣れ親しむ活動を通して、コミュニケーションを図ることを楽しむ態度を育成

【外国語活動】

小3・4年生
35時間

「聞くこと」「話すこと」の言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成

【外国語科】

小5・6年生
70時間

「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の言語活動を通して、コミュニケーションの基礎となる資質・能力を育成

【外国語科】

中1～3年生
140時間

「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成

「英語活動」の
実施により

児童に「生きた英語」を学ぶ環境を整備します。

コミュニケーションを図ることを楽しむ態度を育成します。

「英語活動」に関することをQ&A形式でお答えします。

Q1

国から指定を受けた教育課程特例校制度とはどのようなものですか。

A1

教育課程特例校制度とは、文部科学大臣の指定を受け、教育法令に準じた教育計画であれば、学習指導要領によらない地域の特性を活かした特別の教育活動が行えるものです。

Q2

「英語活動」は何を目的に作られたのですか。

A2

「英語活動」は、小学校低学年から英語に親しませることを目的としています。これにより、小・中9年間を見通した英語教育を実施し、「進んで英語を話せる上尾の子」を育成します。

Q3

「英語活動」の時間はどのように確保するのですか。

A3

1年生は年間34時間、2年生は年間35時間、生活科の時間を削減し、「英語活動」の時間を確保します。

生活科については、学習指導要領に定められた学習内容は全て履修できるよう、各小学校で指導します。

Q4

「英語活動」の評価はどのようになりますか。

A4

「英語活動」の評価は、子供たちが取り組んだ学習活動の内容や身に付けた力を評価します。外国語活動と同様、数値で評価することはありません。